

情報セキュリティ研修における「eラーニング」実施のメリット

先生のメリット

- ① 同じ時間、同じ場所に集まる必要がありません。
- ② 自由な時間と場所で学習できます。
- ③ 先生個人の習熟度に応じて学習を進めることができます。
- ④ 働き方改革の実現。

研修の管理者(教育委員会や管理職など)のメリット

- ① 職員全員に統一したレベルの情報セキュリティ研修を行うことができます。
- ② 研修場所の準備や、当日の同席などが必要ありません。(業務の効率化)
- ③ 研修資料の準備や印刷物を減らすことができます。(コスト削減)
- ④ 必要な学習(研修)習熟度の把握などの自動化が図れます。(見える化)

04 ご提供形態

「事例で学ぶ 学校情報セキュリティ」では以下の形態をご用意しております。

形態①

「先生数」ライセンス版



管理者ライセンス + 先生数×年間利用料

教職員の人数分の年間利用料でご利用いただけます。

形態②

「学校数」ライセンス版

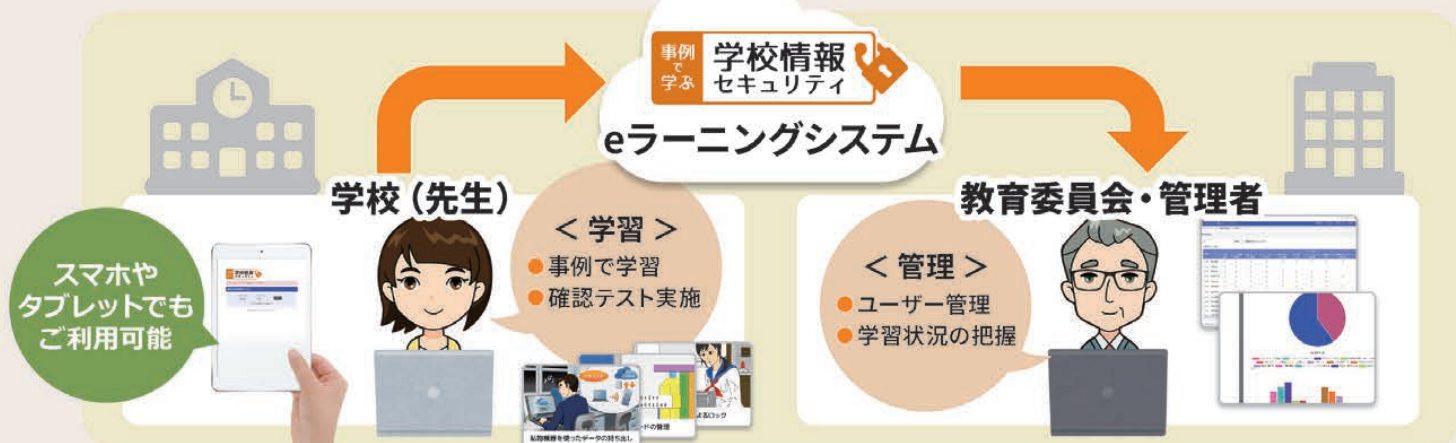


管理者ライセンス + 学校数×年間利用料

学校数分の年間利用料でご利用いただけます。校内は職員数に限らずライセンスは無制限です。

05 構成イメージ(動作環境)

「事例で学ぶ 学校情報セキュリティ」での動作環境は、以下の通りになります。



動作環境 「事例で学ぶ 学校情報セキュリティ」をお使いいただくための動作環境は、以下の通りです。

端末機	(「事例で学ぶ 学校情報セキュリティ」をご使用いただくコンピュータ)
OS	Windows 10 Pro / 8.1 Pro / Professional, Chrome OS v66以上, iOS v10以上, macOS v10.9以上, Android v4.1以上 (制限あり)
ブラウザ	Microsoft Edge, Google Chrome, Mozilla Firefox, Apple Safari

※サービスの仕様は予告なく変更する場合があります。

【販売店】



広島県教科用図書販売株式会社 ITソリューション事業部

〒733-0032 広島県広島市西区東観音町15番12号
TEL: 082-291-1088 FAX: 082-291-1082
URL: <https://www.hirokyou.co.jp/>
E-mail: info-hiroshima@hirokyou.co.jp

事例で学ぶ Netモラル の広教が提供する先生のためのeラーニング

事例
で
学ぶ

学校情報 セキュリティ

2021VER

企画・監修
東北大学大学院
情報科学研究科
教授 堀田 龍也

Netモラル・セキュリティ研究会編

学校の情報セキュリティ研修を eラーニングで実現!

これまで
は...

- 情報担当先生向け集合研修
- 授業終了後に校内研修
- 参加できない先生に個別研修



これからは!

- 教室や職員室など、どこからでも実施できます
- 決められた期間までに任意のタイミングで学習可能
- 管理者は、学習履歴や進捗状況が把握できます



01 「eラーニング」を活用した学習の流れ

「事例で学ぶ 学校情報セキュリティ」での学習の流れをご案内します



02 豊富なコンテンツ

各事例では、学校での情報セキュリティの現状や問題の背景、事故を防ぐための知識について、分かりやすく解説されています。その上で学校現場で起こりうる事例をアニメーションを見て体験。さらに「確認問題」を受講することで、知識の確認と定着ができます。

学校現場における「今」の脅威に対応するため毎年自動でバージョンアップ!

2021年度へバージョンアップ!

情報の共有

フィッシング詐欺

フェイクニュース

クラウド時代のセキュリティのポイント

「情報の扱いの知識とスキル」の事例	「危険な行動」の事例
IDとパスワードの管理 / パスワードによるロック / USBメモリの紛失 / 私物機器を使ったデータの持ち出し / CDからのウイルス感染 / 詐欺メール / 二要素認証	運用規程を守る / アナログ情報の管理 / 裏紙の再利用 / 不審な電話 / メールとファックスの誤送信 / SNSへの投稿 / 保護者と連絡先交換

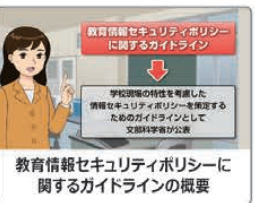
各事例は文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」に対応!



ガイドライン内の該当箇所(例)「私物機器を使ったデータの持ち出し」
 人的セキュリティ 1.5.1. (1) 教職員等の遵守事項
 ④支給以外のパソコン、モバイル端末及び電磁的記録媒体等の業務利用
 (ア)教職員等は、支給以外のパソコン、モバイル端末及び電磁的記録媒体等を原則業務に利用してはならない。
 ただし、業務上必要な場合は、教育情報セキュリティ管理者の許可を得て利用することができる。

その他「情報セキュリティの基礎知識」や「用語集」などコンテンツ多数!

情報セキュリティの基礎知識



情報セキュリティに関する校内研修が簡単にできます。学校における情報セキュリティや社会的背景などについて、アニメーションとナレーションで分かりやすく解説しています。また、文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」について、全ての教職員が理解しておくべき内容をまとめた事例もあります。

用語集



基本に関する用語から、専門的な用語まで180以上の用語を解説。コンピュータの基本からセキュリティ用語まで、知っておきたい180以上の用語を解説しています。

03 進捗や履歴を把握

レベルの統一

業務の効率化

コスト削減

見える化

メリット多数!

研修の管理者(教育委員会や管理職など)の方は、学習者の進捗や履歴を把握できます

受講状況

※CSVデータとしてダウンロードも可能

受講状況グラフ

管理者は、「受講状況」から受講者の進捗状況を確認したり、未実施者へメールで「受講催促を通知」したりできます。また、CSVデータとしてダウンロード可能なので、履歴の管理や保存が簡単にできます。

受講者の必須完了事例が一目でわかるグラフができました。

受講必須事例の選択やコンテンツの追加などのカスタマイズも可能

受講必須事例の選択

オリジナルの資料等をアップ

確認問題のカスタマイズなど

全事例の受講が難しい場合は、受講を必須にする事例を指定する事ができます。また、期日が近くなると、自動で受講者に一斉メールで通知することも可能。

自治体や学校で使用されているオリジナルの資料等を、eラーニング内で共有できます。画像、PDF、Office等の形式の他、サイトリンクの共有も可能。

自治体や学校のセキュリティポリシーや現状に合わせて、確認問題などを、アレンジして作り変えることもできます。